

VI 障害福祉計画の実現に向けての墨田区の取り組み

墨田区基本計画では、安心して暮らせる「すみだ」をつくるという基本目標のもと、「障害者が尊厳をもち、安心して暮らせるしくみをつくる」という政策を掲げています。

- (1) 本計画において設定した障害福祉サービス及び地域生活支援事業に係る見込み量については、地域の民間事業者、NPO などのサービス供給主体と連携・調整を図ることにより、福祉サービスを確保します。
- (2) 障害者の自立と社会参画を促進するため、生活の基盤の一つであるグループホーム・ケアホームの運営を支援します。
- (3) 意欲や能力のある障害者が企業などで働くことができるよう、すみだ障害者就労支援総合センターを中心に就労支援を強化します。ハローワークなど関係機関との連携による就労移行支援体制の確立を図り、就労に関する総合相談、職業訓練から就職後のフォローアップ、生活支援まで連続した支援を積極的に展開します。
- (4) 一般就労が困難な障害者に対しては、福祉的就労の場を確保し、安定して継続利用ができるよう、公有地を活用し、区内の民間小規模就労支援施設の統合・移転整備を支援することで、安定的な運営を支援します。
- (5) 福祉就労系サービス事業所利用者については、貴重な収入源である工賃のアップのために、区内福祉作業所等ネットワークを通じた自主生産品の販売支援や本区をはじめ関係公共機関からの発注(官公需)をより一層得られるよう努めていきます。
- (6) 障害児の福祉サービスについては利用者推移を判断しながら施設などの整備を進めてきました。障害者自立支援法に基づく児童デイサービスは、平成 24 年 4 月から児童福祉法に基づく児童発達支援事業等に移行することとなり、今後、障害福祉計画の対象とはなりません。区の施策達成の指標として位置づけ、計画的に利用の拡大を図ります。

■ 施策の達成をはかる指標(墨田区基本計画から)

◆児童デイサービス(I型)の利用人数			
指標とした理由 発達に不安がある児童を療育機関につなげた数値を指標としました。			
実績値<平成17年度> 344人/月	現状値<平成22年度> 1,088人/月	最終目標<平成27年度> 1,560人/月	データ出所 所管課データ

※値は、各年度の3月延べ利用者数 平成17年度実績値：法外事業である心身障害児療育施設としての利用者数

◆グループホーム・ケアホーム利用者数			
指標とした理由 障害者が地域で自立した生活を送る状況をあらわす数値を指標としました。			
実績値<平成17年度> 73人	現状値等<平成22年度> 115人	最終目標<平成27年度> 143人	データ出所 所管課データ

◆障害者雇用率			
指標とした理由 事業所の障害者雇用状況をあらわす数値を指標としました。			
実績値<平成17年度> 1.39%	現状値等<平成22年度> 1.57%	最終目標<平成27年度> 1.75%	データ出所 所管課データ ※実績値 ハローワーク墨田

◆区の障害者就労支援センターを通じて就労した人数			
指標とした理由 障害者の就労状況をあらわす数値を指標としました。			
実績値<平成17年度> 24人/年	現状値等<平成22年度> 47人/年	最終目標<平成27年度> 50人/年	データ出所 所管課データ

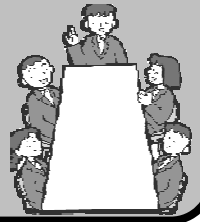
■ 墨田区障害者就労支援システム

■ ネットワーク

障害者就労支援協議会 等

区の障害者就労支援について協議・情報交換・研究・ケース検討

(ハローワーク・業界団体・特別支援学校・就労移行支援事業者・福祉事務所・保健センター 等)

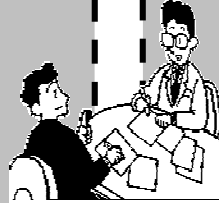


■ 就職訓練・就職支援
職場開拓

すみだ障害者就労支援総合センター就労移行支援事業所
ユニーク・ジョブ・サポート
就労継続支援事業
区内外訓練
及び就労支援機関等

■ 就労相談

すみだ障害者就労支援総合センター総合相談室
就労に関する
総合相談 等



■ 生活支援

福祉事務所
保健センター
友の家 等
福祉サービス
利用・生活面
での各種相談
支援 等

求職障害者
就労障害者



■ 職業紹介・職場開拓など

ハローワーク
民間職業紹介所 等

■ 雇用の場

一般企業
特例子会社 等
・雇用の創出
・実習の場の提供

■ 就労に係る
生活支援

すみだ障害者就労支援総合センター
就労障害者生活支援事業所
・職場定着支援
・各種相談支援 等



連携

支援

支援

連携

連携

支援

支援

連携

支援

連携

支援